

H20年度 放送教育研究委員会 活動報告

1. 第1回総会

日 時：平成20年4月15日(火)14:00～16:00

場 所：甲府第一高等学校

議 題：(1)平成19年度事業報告及び決算報告 (2)平成20年度役員について
(3)平成20年度事業計画、日程、予算案に行いて
(4)コンテスト担当校および審査員順番について (5)その他

連 絡：各コンテストについて、関東大会について、放送連盟賞規定確認
*分担金納付、NHKコンテスト大会要項配布

2. 県高校総体 開・閉会式 司 会 (協 力)：

5月7日(水)・9日(金)(小瀬陸上競技場)

3. 第55回NHK杯全国高校放送コンテスト山梨県大会

日 時：平成20年6月22日(日)8:10～16:40

場 所：山梨学院大学附属高等学校

主 催：山梨県高等学校教育研究会教育情報・視聴覚部会、山梨県高等学校文化連盟
NHK甲府放送局

参 加：参加校数24校 参加生徒数172名

審査員：アナウンス部門

角井雅好(NHK) 小田切邦彦(元吉田商校長、元委員長) 西室聡子(塩 山)
朗読部門

阿部陽子(NHK) 保坂博文(あけぼの支援学校校長、元委員長) 小林久美子(巨摩)
番組部門

中島木祖也(NHK) 手塚幸樹(高校教育課指導主事) 名取由利子(甲府東)

運営員：中澤まゆみ(甲府城西) 山下為子(山梨園芸) 野澤尚子(山梨英和)

司 会：中村 真純(吉田OG)

入賞者： *○印の数字は学年を表す

○ アナウンス部門(出場46名)

- 1 梶本伊代(桂) ③
- 2 大森優希(山梨英和) ③
- 3 渡辺麻美(甲府西) ②
- 4 高村由衣(山梨英和) ②
- 5 雨宮慎太郎(甲府西) ③
- 6 望月奈央(甲府第一) ③

○ 朗読部門(出場51名)

- 1 鷹野真佑(山梨英和) ③
- 2 樋口舞(山梨英和) ③
- 3 稲葉莉緒(富士北稜) ③
- 4 長田健太郎(甲府昭和) ③
- 5 清水香織(甲府西) ③
- 6 鈴木美果子(桂) ③

奨励賞 小田切 瑞穂(山梨園芸) ②

○ 番組部門

*ラジオ番組部門(出場5校・本数5本)

- 1 Dangerous driving(日 川)
- 2 ふるさと～出会いと絆～(山 梨)
- 3 人気DJのお悩み相談コーナー(甲府西)

*テレビ番組部門(出場8校・本数8本)

- 1 節電!小さな一歩を大きな飛躍に(日 川)
- 2 桂高生 マナーけいたい中!?(桂)
- 3 ふたつの命を守りたい(葦 崎)

*創作ラジオドラマ部門(出場9校・本数9本)

- 1 生命～手をさしのべて～(桂)
- 2 言 霊(甲府東)

奨励賞 仲直りは何度でも(甲府第一)

*創作テレビドラマ部門(出場6校・本数6本)

- 1 きっと何年たっても(甲府西)
- 2 帰り道～WAY TO MY FRIEND(桂)

奨励賞 Crossing over(甲府昭和)

○ 校内放送研究発表

1 動画コンテンツ作成システムの構築 (甲府工業)

4. 第55回NHK杯全国高校放送コンテスト出場者のための練習会

日時：平成19年 7月8日 (火) 16:00～

場所：NHK甲府放送局

指導：アナウンス 角井 雅好アナウンサー 朗 読 阿部 陽子アナウンサー

参加生徒：(アナウンス) 梶 本 伊 代 (桂) 大 森 優 希 (山梨英和)

渡 辺 麻 美 (甲府西) 高 村 由 衣 (山梨英和)

雨 宮 慎太郎 (甲府西) 望 月 奈 央 (甲府第一)

(朗 読) 鷹 野 真 佑 (山梨英和) 樋 口 舞 (山梨英和)

稲 葉 莉 緒 (富士北稜) 長 田 健太郎 (甲府昭和)

清 水 香 織 (甲府西) 鈴 木 美果子 (桂)

5. 高校野球選手権山梨大会 開会式 司 会 (協力) : 7月5日 (土) (小瀬球場)

6. 第55回NHK杯全国高校放送コンテスト (東京)

日時：平成20年 7月23日 (水) ～7月25日 (金)

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター・NHKホール (決 勝)

主 催：全国放送教育研究会連盟 NHK

出場校数：11校 (山梨県代表)

結 果：アナウンス 準決勝進出 渡辺 麻美 (甲府西)、梶本 伊代 (桂)

朗 読 準決勝進出 鷹野 真佑 (山梨英和)、稲葉 莉緒 (富士北稜)

決勝進出 稲葉 莉緒 (富士北稜) 全国第3位

審査員：丹澤真理子 (山梨英和) 名取 由利子 (甲府東) 島袋あゆみ (桂)

会場係：川手里佳 (富士北稜) 野中裕子 (日 川) 古屋登志子 (山 梨)

運営員：三浦和子 (吉 田・山梨県事務局)

7. 第32回全国高等学校総合文化祭群馬大会放送部門

日時：平成20年 8月9日 (土) ～8月10日 (日)

場所：伊勢崎市文化会館

主 催：全国高等学校文化連盟

出場者 (出場校) :

アナウンス部門

- 1 梶本 伊代 (桂)
- 2 武井亜希子 (甲府第一)
- 3 今村 有希 (甲府東)

朗読部門

- 1 小田切瑞穂 (山梨園芸)
- 2 清水 香織 (甲府西)
- 3 長田健太郎 (甲府昭和)

番組部門

*オーディオピクチャー部門

- 1 夢色に魅せられて～116年の歴史・山下染め物工場 (日 川)

*ビデオメッセージ部門

- 1 水の洗礼 行け!山梨市消防団日川分団第5部 (日 川)
- 2 Made in 山梨～安心・安全を全国へ～ (桂)

☆全員が個性豊かで郷土への思いが伝わるすばらしい発表を行った。

※全国顧問会議に

石原千鶴 (甲府昭和) 名取由利子 (甲府東) 小林理恵 (甲府第一) 野中裕子 (日川) が参加。

8. 平成20年度県下高校放送コンテスト

日時：平成20年9月14日（日）9:00～16:00

場所：山梨学院大学附属高校

主催：山梨県高等学校教育研究会教育情報・視聴覚部会、山梨県高等学校文化連盟
山梨放送

参加：参加校数21校 参加生徒数123名

審査員：アナウンス部門

依田智子(山梨放送) 三浦和子(吉田) 丹澤真理子(山梨英和)

朗読部門

浅川初美(山梨放送) 野中裕子(日川) 池谷由美(身延)

番組部門

児玉久男(山梨放送) 土屋仁(桂) 渡邊邦代(富士河口湖)

運営員：川手里佳(富士北稜) 名取由利子(甲府東) 西室聡子(塩山)

司会：斧田麻里(山梨英和OG)

入賞者：

○ アナウンス部門(出場32名)

- 1 渡辺 麻美 (甲府西) ②
- 2 高村 由衣 (山梨英和) ②
- 3 佐々木英里 (桂) ②
- 4 梶原友美子 (吉田) ①
- 5 手塚 美穂 (日川) ②
- 6 赤池 玲美 (山梨英和) ①

○ 朗読部門(出場44名)

- 1 金井 美緒 (桂) ②
- 2 名取 竜司 (塩山) ①
- 3 佐藤 伶美 (日川) ②
- 4 小田切瑞穂 (山梨園芸) ②
- 5 中嶋 樹理 (甲府昭和) ②
- 6 加賀美佑弥 (甲府工業) ②

○ 番組部門

*ラジオ番組部門(出場9校・本数9本) *テレビ制作PR部門(出場16校・本数24本)

1 空からのメッセージ(塩山)

最優秀賞 夢の進入部員(日川B)

2 171 (桂)

優秀賞 ある男女の会話(甲府第一)

3 人間のごみ箱、動物のすみか(甲府南)

優秀賞 桂のオアシス(桂A)

奨励賞 感動をあなたと(桂)

奨励賞 サバンナ(韮崎B)

奨励賞 とびだす美術部(吉田A)

奨励賞 Let's Painting(甲府西A)

奨励賞 矢にこめる想い(塩山A)

奨励賞 放送★球児(山梨学院大学附属)

9. 平成20年度放送教育研究委員会 第1回事務局会議

日時：平成20年9月14日（日）15:30～17:00

場所：山梨学院大学附属高等学校

参加者：小林 理恵(甲府一) 三浦 和子(吉田) 古屋登志子(山梨)

市川 弓子(市川) 西室 聡子(塩山) 長坂 教子(山梨学院)

名取由利子(甲府東) 川手 里佳(富士北稜) 小宮由美子(甲府南)

議題：(1) 平成20年度山梨県高等学校芸術文化祭放送部門について

(2) 平成21年度外部会場での県内コンテストについて

(3) 平成22年度関東大会(山梨県)での役割分担について

(4) その他

10. 第2回総会

日 時：平成20年9月22日(月)15:30～17:00

場 所：山梨高校

議 題：(1) 次年度県下高校放送コンテスト名称について (2) その他

連 絡：(1) 平成20年度 山梨県高等学校芸術文化祭放送部門について
(2) 平成20年度 関東地区高校放送コンクールについて
(3) 平成21年度 学校外施設を利用したの県内コンテストについて
(4) 全国高文連放送部会からの提案・検討事項について
(5) その他

11. 第29回山梨県高等学校芸術文化祭放送部門

日 時：平成20年11月9日(日)9:00～16:00

場 所：甲府第一高等学校

主 催：山梨県高等学校文化連盟

参 加：参加校数23校 参加生徒数125名

審査員：アナウンス部門・朗読部門

角井雅好(NHK甲府) 壬八千代(声のプロ・言語朗) 小宮由美子(甲府南)
：番組部門

児玉久男(山梨放送) 佐藤泰男(テレビ山梨) 市川弓子(市川)

運営員：小林久美子(巨摩) 三浦和子(吉田)

司 会：稲葉 莉緒(富士北稜3年生)

入賞者および入賞校：

○アナウンス部門(出場20名)

芸術文化祭賞 渡邊 麻実(甲府西)
優秀賞 名取 竜司(塩山) ①
優秀賞 手塚 美穂(日川) ②
奨励賞 佐々木英里(桂) ②
奨励賞 青野佑美(甲府南) ②
奨励賞 秋山順子(山梨英和) ①

○朗読部門(出場20名)

芸術文化祭賞 齋藤 壮馬(甲府西) ②
優秀賞 平山久美子(甲府昭和) ②
優秀賞 金井 美緒(桂) ②
奨励賞 梶原友美子(吉田) ①
奨励賞 向山太郎丸(日川) ②
奨励賞 高埜喜代子(韮崎) ②

※芸術文化祭賞1、優秀賞2は第33回全国高等学校総合文化祭三重大会に推薦。

奨励賞各3は関東大会(千葉)に推薦。

○番組部門

*オーディオビジュアル部門(出場8校)

芸術文化祭賞 桂
優秀賞 甲府西
優秀賞 甲府東
奨励賞 吉田

*ビデオメッセージ部門(出場10校)

芸術文化祭賞 桂
優秀賞 日川
優秀賞 富士北稜
奨励賞 山梨

※オーディオビジュアル部門は芸術文化祭賞1、ビデオメッセージ部門は芸術文化祭賞1優秀賞上位1を第33回全国高等学校総合文化祭三重大会に推薦。

また、下位の中からオーディオビジュアル部門1、ビデオメッセージ部門1を関東大会(千葉)に推薦。

12. 平成20年度 校内放送指導者講座

日 時：平成20年12月26日(金)～12月27日(土)

会 場：千代田放送会館(東京都)

主 催：全国放送教育研究会連盟、日本放送協会(NHK)

共 催：日本放送教育協会

対 象：(1) 高等学校放送部(委員会・同好会)の指導に当たる者

(2) 各都道府県高校放送コンテスト担当者及び放送コンテストの審査に当たる者

参加者：吉野清子(甲府西) 丹澤真理子(山梨英和) 島袋あゆみ(桂) 三浦和子(吉田)

川手里佳(富士北稜)計5名が参加。

13. 第6回関東地区高校放送コンクール

日 時：平成21年1月25日（日）9:30～

会 場：千葉県教育会館 大ホール

主 催：関東地区高等学校文化連盟 関東地区高等学校文化連盟放送部会

共 催：千葉県教育委員会 千葉県高等学校文化連盟

審査員：アナウンス部門 野中 裕子（日 川）

朗 読 部門 吉野 清子（甲府西）

ビデオメッセージ部門 三神 幸子（甲府工業）

オーディオピクチャー部門 市川 弓子（市 川）

派遣生徒・団体について：

○ アナウンス部門（3名）

佐々木英里（桂）

青野 佑美（甲府南）

秋山 順子（山梨英和）

○ ビデオメッセージ部門（1校）

富士北稜高校

○ 朗読部門（3名）

梶原友美子（吉 田）

向山太郎丸（日 川）

高埜喜代子（韮 崎）

○ オーディオピクチャー部門（1校）

甲府西高校

結 果：優良賞 ビデオメッセージ部門 富士北稜高校

オーディオピクチャー部門 甲府西高校

※関東地区高等学校放送部顧問代表者会議（千葉県教育会館）

参加者：小林 理恵（甲府第一） 三神 幸子（甲府工業） 市川 弓子（市 川）

***平成23年1月に行われる第8回大会は、山梨県で開催されます。**

14. 顧問・生徒研修会

日 時：平成21年2月15日（日）8:30～11:30

場 所：韮崎高等学校

参 加：参加19校126名

講 師：アナウンス会場 依田智子（山梨放送）

朗 読 会場 浅川初美（山梨放送）

番 組 会場 児玉久男（山梨放送）

内 容：研修会（8:50～11:30）

山梨放送様の全面的なご協力の下、昨年と同様アナウンス・朗読・番組3会場同時に研修を実施。実習を含んだ大変有意義な研修となった。

15. 平成20年度放送教育研究委員会 事務局会議

日 時：平成21年2月15日（日）12:30～15:00

場 所：韮崎高等学校

参加者：小林 理恵（甲府一） 三浦 和子（吉 田） 古屋登志子（山 梨）

市川 弓子（市 川） 西室 聡子（塩 山） 長坂 教子（山梨学院）

名取由利子（甲府東） 川手 里佳（富士北稜） 小宮由美子（甲府南）

議 題：（1）平成21年度各放送コンテスト・研修会・総会の日程・会場について

（2）平成21年度委員長・副委員長・役割分担について

（3）平成21年度第56回NHK杯全国高校放送コンテストについて

（4）平成21年度YBS杯について

（5）平成21年度山梨県高等学校芸術文化祭放送部門、全国高等学校総合文化祭について

（6）第7回関東地区高校放送コンクール（神奈川県）について

（7）平成21年度放送生徒・顧問研修会について

（8）会計報告について

（8）その他

16. 平成 20 年度山梨県高等学校放送連盟賞

申請学校数 17 校 表彰生徒数 44 名

17. 総 括

今年度は、NHK杯全国高校放送コンテストでの、朗読部門全国3位という快挙に始まり、最後の大会である関東地区高校放送コンクールでも、ビデオメッセージとオーディオピクチャー両部門での優良賞受賞で幕を閉じるという、素晴らしい成果を収めた1年であった。毎年述べさせていただいていることであるが、山梨県各校放送部の県内外での活躍ぶりは、ひとえに日頃の先生方のご指導と、生徒の努力の賜である。顧問の先生方に深く感謝申し上げますと共に、今後も各校放送部のますますの活躍を期待している。

(文責 放送教育研究委員会委員長 小林 理恵)